

第26回 腸内細菌学会学術集会

発表演題募集・プログラム

メインテーマ

次世代へ加速する  
腸内細菌研究

—マイクロバイオームの生理機能解明とその制御—

開催日

2022年

7月7日(木) » 8日(金)

会場

タワーホール船堀

東京都江戸川区船堀 4-1-1

大会長

岡田 信彦(北里大学)

事前登録費

3/1 ~ 5/31 会員 7,000 円 一般 11,000 円 学生 1,500 円

6/1 ~ 6/20 会員 8,000 円 一般 12,000 円 学生 1,500 円

当日参加費 会員 9,000 円 一般 13,000 円 学生 2,000 円

(要旨集: 個人会員・一般・学生無料配布、当日別売 2,000 円)



本年度は、口頭発表+ポスター発表の **一般演題 A** と口頭発表のみの **一般演題 B** の 2 種類の募集となります。

腸内細菌をはじめとする腸内微生物の生態、分類および機能・腸管免疫・食品微生物・プロバイオティクス・プレバイオティクスなどに関する研究の発表を下記の要項に従ってお申し込みください(メインテーマと関連がなくても結構です)。若手研究者・新規研究者の発表の場として非会員にも開放しております。

本大会の一般演題は、大会 1 日目午前中に【一般演題 A】(7 分程度の口頭発表[質疑応答含む])と、【一般演題 B】(10 分程度の口頭発表[質疑応答含む])を 2 つの会場で並行して行う予定です。一般演題 A は口頭発表に加え同日午後のポスター発表もあり、若手研究者による発表や、シーズあるいは萌芽的な研究の発表を歓迎致します。なお、一般講演 A の中から本学会選考委員によって優秀な発表と評価された発表者に対して「最優秀発表賞」(表彰状および副賞)が贈られます。

- ① **申込方法** ・抄録用原稿を E-Mail にてお送りください。メール本文には「一般演題 A での発表希望」など、どの演題希望なのかを必ず明記してください。

### ② 作成要領

- ❗ 抄録用原稿および発表スライドには、会社名、製品名の使用は避け、成分名、一般名等にて記載ください。

- 一般演題 A** ・2022 年 7 月 7 日現在で 40 歳未満の方を対象とします。  
・抄録用原稿は MS-Word で作成してください。  
・用紙の大きさは A4 1 枚とし、上部に演題名・英文タイトル・演者(○をつける)・共同研究者の氏名および所属を明記してください。  
・本文の長さは和文 1,000 文字または英文 550 ワード内とし、「目的、方法、結果、考察」の順で記入してください。  
・抄録用原稿は、第 26 回腸内細菌学会学術集会のホームページから抄録用フォーマット(Word ファイル)をダウンロードして作成してください。  
・締切：2022 年 1 月 31 日(月) 必着にて事務局までお送りください。

和文タイトル  
英文 Title

○腸内太郎<sup>1</sup>，腸内花子<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>腸内大学研究所，<sup>2</sup>株式会社 腸内細菌

【目的】…

【方法】…

【結果】…

【考察】…

#### 一般演題 B

- ・抄録用原稿は MS-Word で作成してください。
- ・用紙の大きさは A4 1 枚とし、上部に演題名・英文タイトル・演者（○をつける）・共同研究者の氏名および所属を明記してください。
- ・本文の長さは和文 1,000 文字、または英文 550 ワード内とし、「目的、方法、結果、考察」の順で記入してください。
- ・抄録用原稿は、第 26 回腸内細菌学会学術集会のホームページから抄録用フォーマット (Word ファイル) をダウンロードして作成してください。
- ・締切：2022 年 1 月 31 日（月）必着 にて下記事務局までお送りください。

### ③ 発表時間

#### 一般演題 A

##### 7 月 7 日（木） 小ホール（予定）

大会第 1 日目午前中のセッションでの発表（7 分程度の口頭発表 [質疑応答含む]）と同日午後にその講演のポスター発表（全体で 60 分ほどの [質疑応答あり]）になります。  
※申込が多数の場合は、7 月 8 日（金）の発表も予定しています。  
※学会開催期間中に最優秀発表賞の発表を行います。

#### 一般演題 B

##### 7 月 7 日（木） 大ホール（予定）

大会第 1 日目午前中のセッションでの発表（10 分程度の口頭発表 [質疑応答含む]）となります。  
※申込が多数の場合は、7 月 8 日（金）の発表も予定しています。

※発表時間に変更になる可能性がありますのでご了承ください。

### ④ 申込先および事務連絡先

公益財団法人 腸内細菌学会事務局  
〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 1-24-12  
TEL 03-5319-2669 FAX 03-5978-4068  
E-Mail アドレス jbf@ipec-pub.co.jp  
ホームページ <https://bifidus-fund.jp/>

### ⑤ その他

発表方法や時間などは採択後に発表者にご連絡します。なお、演題の採択は学術委員会の審査を経て、大会長が判断いたしますのでご了承ください。  
また、発表者の皆様には、ご発表に際し「利益相反（COI）」に関する開示をお願いいたします。発表スライドまたはポスター中に COI の有無について公表してください。企業に所属の場合は、別企業と COI 状態にある場合に開示してください。  
当財団の「利益相反（COI）」開示方法については、「公益財団法人腸内細菌学会ホームページ」→「当財団について」→「利益相反（COI）について」をご参照ください。  
([https://bifidus-fund.jp/aboutcenter/pdf/about\\_coi.pdf](https://bifidus-fund.jp/aboutcenter/pdf/about_coi.pdf))

# 学会スケジュール (予定)

7月7日 (木)

第1日

9:55～10:00 開会の挨拶 大会長 岡田 信彦 (北里大学)

10:00～12:00 一般演題 A ショートプレゼンテーション (小ホール)

一般演題 B 発表 (大ホール)

※一般演題 A・B 共に申込が多数の場合は、一部翌日8日(金)に行う予定です。

(12:00～13:30 昼食休憩)

13:30～14:30 海外特別講演 (大ホール)

**Andreas J. Bäumler** (Department of Medical Microbiology and Immunology,  
University of California Davis)

**“The Microbiota and Gut Homeostasis”**

14:30～15:20 特別講演 (大ホール)

**植松 智** (大阪市立大学大学院医学研究科・医学部ゲノム免疫学 /  
東京大学医科学研究所 ヒトゲノム解析センター メタゲノム医学分野)

「Dysbiosis 関連疾患の新規治療法の開発」

15:40～15:50 腸内細菌学会 研究奨励賞授賞式 (大ホール)

15:50～16:10 受賞講演 1

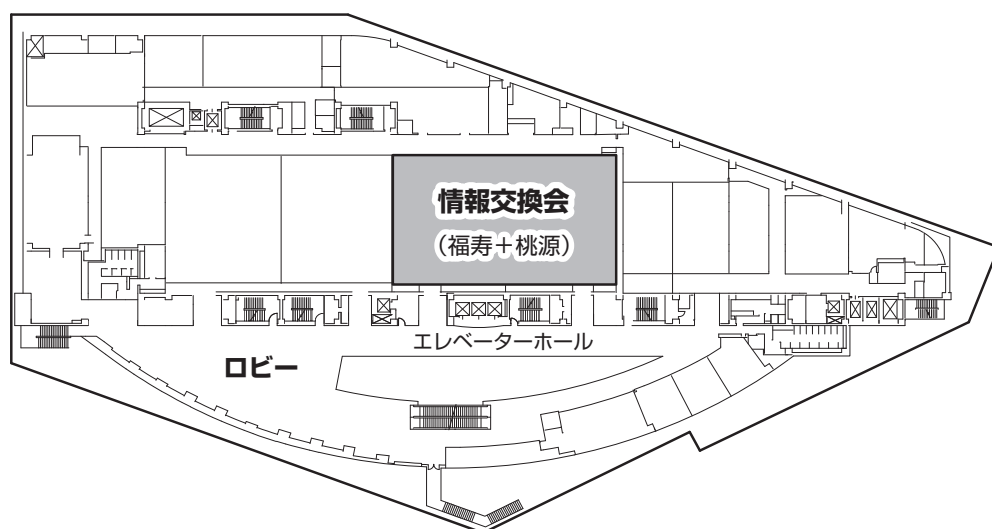
16:10～16:30 受賞講演 2

16:45～17:45 一般演題 A ポスター発表 (1F 展示ホール)

午前の部に行ったショートプレゼンテーションのポスターを用いた  
質疑応答タイム

18:00～19:30 情報交換会（2F 福寿・桃源）（予定）

皆様奮ってご参加ください。



第1日

7月7日  
(木)

## 市民公開講座『くすりと腸内細菌』

13:30～15:30（小ホール）

**小林 拓**（北里大学 北里研究所病院）

「炎症性腸疾患の最新知見 —くすり・食事・腸内細菌—」

**角田 卓也**（昭和大学医学部 内科学講座 腫瘍内科学部門）

「腸内細菌とがん免疫療法  
—食物繊維発酵腸内細菌が治療効果を決める?—」

司会：長谷 耕二（慶應義塾大学）

# 学会スケジュール（予定）

7月8日（金）

第2日

9:30～12:00 シンポジウム1（大ホール）

## 『マイクロバイオームの生理機能』

**松本 光晴**（協同乳業株式会社研究所）

「腸内マイクロバイオーム由来ポリアミンの生理機能」

**小川 順**（京都大学大学院農学研究科 応用微生物学講座）

「マイクロバイオームの代謝機能を介した食品成分の潜在生理機能発現」

**新 幸二**（慶應義塾大学医学部 微生物学・免疫学教室）

「長寿に關与する腸内細菌の探索」

**笹部 潤平**（慶應義塾大学医学部 薬理学教室）

「アミノ酸のキラリティによる免疫調節機構」

**佐々木 伸雄**（群馬大学生体調節研究所 粘膜エコシステム制御分野）

「オルガノイドが紐解く消化管の複雑系」

（12:00～13:30 昼食休憩）

13:30～16:00 シンポジウム 2 (大ホール)

### 『マイクロバイオームの制御と健康』

**金 倫基** (慶應義塾大学薬学部 創薬研究センター)

「マイクロバイオームモジュレーターによる疾患制御」

**新藏 礼子** (東京大学定量生命科学研究科 免疫・感染制御研究分野)

「リコンビナント IgA 抗体による Dysbiosis の治療」

**大谷 直子** (大阪市立大学大学院医学研究科 分子生体医学講座)

「腸内細菌叢と肝がん」

**大野 欽司** (名古屋大学大学院医学系研究科 神経遺伝情報学)

「パーキンソン病の腸管神経叢起源説と腸内細菌叢の関与」

**石川 大** (順天堂大学医学部 消化器内科学講座)

「腸内細菌叢移植の現状と展開」

16:00～16:10 閉会の辞

### 投稿のお願い

本学会でのご発表の内容を和文誌『腸内細菌学雑誌』または腸内細菌学会・日本乳酸菌学会・日本食品免疫学会の合同英文誌『Bioscience of Microbiota, Food and Health』へご投稿ください。原稿の種類は、原著・総説・ノート何れでも構いません。BMFH 誌は2018年3月に SCIE (Science Citation Index Expanded) への登載が決定しました。これにより BMFH 誌に Impact Factor が付くこととなりました。2020 年の Impact Factor は **3.121** に決まりました。

**BMFH Journal Impact Factor 3.121**



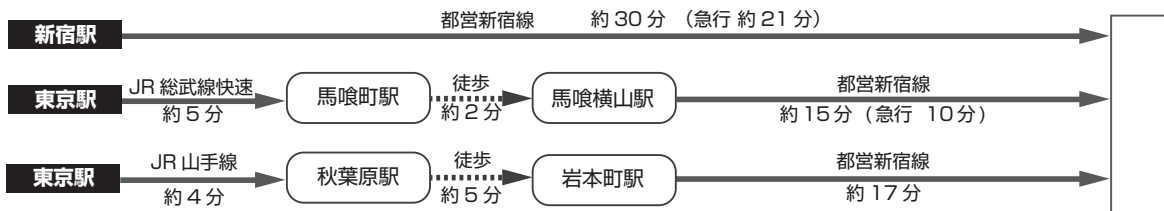
# 交通アクセス・マップ

## タワーホール船堀

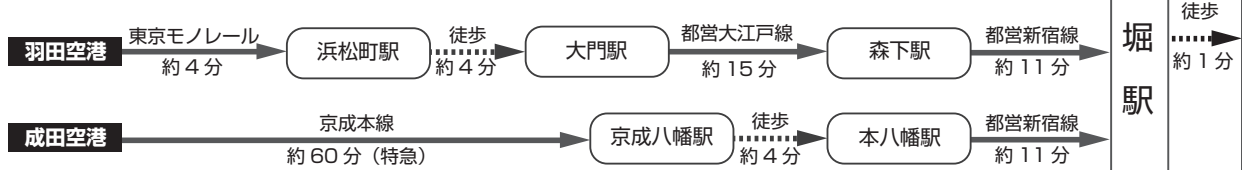
タワーホール船堀までのアクセス (東京都江戸川区船堀 4-1-1)

都営新宿線【船堀駅】より徒歩 約 1 分

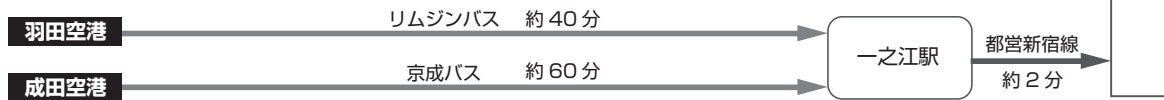
### ● 電車をご利用の場合



### ● 空港から電車をご利用の場合



### ● 空港からバスをご利用の場合

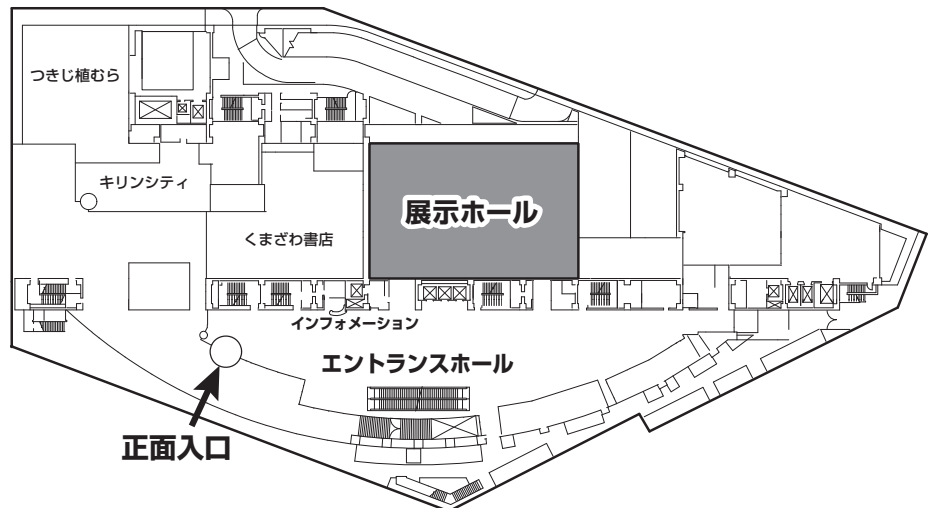


タワーホール船堀

## 会場案内図

1 F

- ・ポスター発表
- ・企業展示
- ・製品提供
- ・インターネットコーナー



5 F

- ・講演会場
- ・シンポジウム
- ・市民公開講座

